

国指定重要無形民俗文化財
「角館祭りのやま行事」(平成3年2月21日指定)

角館のお祭り



仙北地域に秋の訪れを告げる「角館のお祭り」が9月7・8・9日の3日間にわたって行われ、町中が祭一色につつまれました。

今年は、初日に台風の接近が心配されましたが、被害も少なく、2日目からは晴天に恵まれ土日が重なったこともあり、昨年と比べ2万2千人増の30万7千人の人出で賑わいました。(角館のお祭り実行委員会調べ)

角館のお祭りは、地域の繁栄や商売繁盛、家族の無病息災などを祈願するもので、角館町岩瀬の神明社(9月7・8日)と西勝楽町の薬師堂(9月8・9日)の祭りが一緒になったものです。

北仙北地域全体で支えられ、伝承されてきたお祭りは、曳山や飾山囃子ばかりでなく、お祭りに関わる町内組織、御輿渡御、張番、置山、人形や曳き廻し作法、しきたりなどお祭りに関わる全体が国の重要無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」として平成3年2月21日に指定されました。





歌舞伎人形や武者人形をのせ、きれいに飾った18台の曳山が7日に神明社へ参拝。8日は、武家屋敷通りを通して佐竹北家当主へ上覧。薬師堂へは8日または9日に参拝に向かいます。

曳山は飾山囃子を奏で、艶やかな手踊りを披露しながら町内を曳き廻します。曳山同士が道でかちあうと、通行の優先権をめぐる交渉を繰り返し、決裂すると実力で押し通すため曳山同士が激しく激突する山ぶっつけがはじまります。曳山を曳く若者ばかりでなく、見物する人をも魅了する華麗で豪快な祭り絵巻が繰り広げられ、今年も明け方まで若者のかけ声とお囃子の音が響いていました。

武家屋敷通りでは禁煙を、町中では防犯を呼びかけティッシュが配られていました。

平成19年度 「おやま囃子コンクール」結果

(主催:角館のお祭り保存会)

《囃子部門》

- ◇最優秀賞(角館のお祭り保存会長賞)
岩瀬若者 祭喜会 代表 加藤清貴
- ◇優秀賞(角館町観光協会会長賞)
北部丁内若者 上桧木内鈴木組 代表 鈴木定平
- ◇優秀賞(仙北市商工会会長賞)
本町通り 神代芸能保存嬉遊会 代表 小原喜代四郎

《手踊り部門》

- ◇最優秀賞(角館のお祭り保存会長賞)
岩瀬若者 加藤ミヨ社中 代表 加藤ミヨ
- ◇優秀賞(角館町観光協会会長賞)
本町通り 高橋キヌ子社中 代表 高橋キヌ
- ◇優秀賞(仙北市商工会会長賞)
北部丁内若者 鈴木みつる社中 代表 鈴木みつる

